

【報道関係者各位】

2017年1月26日

鉄旅オブザイヤー実行委員会



**ついに鉄道旅行のナンバーワン決定！
『鉄旅オブザイヤー』2016グランプリは、
日本旅行がプロデュース 観光列車「ながまれ海峡号」
「地域振興ツアーの決定版」と、審査員から高評価。**

この度、鉄旅オブザイヤー実行委員会は、日本国内の優れた鉄道旅行を審査・表彰する『鉄旅オブザイヤー』の結果発表及び授賞式を、2017年1月25日(水)に「鉄道博物館」にて開催致しました。第六回となる今年度、全国の旅行会社より応募された鉄道の魅力溢れる106作品の中から、鉄旅オブザイヤー実行委員会による第一次審査、外部審査員(審査委員長: 芦原 伸さん)による第二次審査を経て選考されたユニークで魅力的な受賞作品を発表致しましたので、ここにご報告いたします。今年度は新設された「一般部門」の受賞作品も発表致しました。 ※鉄旅オブザイヤーの詳細はこちら <http://www.tetsutabi-award.net/>

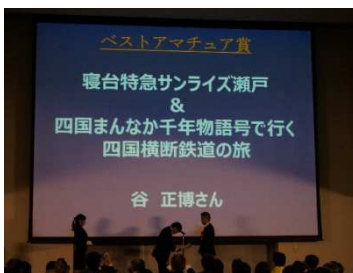
**■ グランプリは、道南エリア地域活性化を目的とした観光列車「ながまれ海峡号」
初の一般部門「ベストアマチュア賞」も発表！**

過去最多106作品の中からグランプリに輝いたのは、株式会社日本旅行 新規事業室 鉄道プロジェクト 瀬端浩之さんの作品『赤い風船 観光列車「ながまれ海峡号」にしよう』。

道南エリアの更なる地域活性化を目指して、旅行会社初の観光列車「道南いさりび食堂ながまれ号」の総合プロデュースを行った。津軽と道南を味わえる列車をコンセプトに「なつかしさ」「昭和モダン」の鉄道の旅の楽しみ、沿線らしいおもてなしと函館・木古内以外の途中駅にも停車し、地元の方とのふれあいのひとときを設けた。企画者の瀬端さんは「自分もちろんうれしいが、木古内の皆さんにも喜んでいただけることと思う。そのことが同じようにうれしいです。」とコメント。



審査員からは、「スタッフみんなで頭をひねって考えた、愛のこもった作品と感じました。」(シンガーソングライター オオゼキタクさん)「今回の成功が、他の第三セクター鉄道にとっても模範事例となることを期待しています。」(共同通信社編集局経済部次長 大塚圭一郎さん)と、熱意のこもった企画力や、地域一丸となった取り組みの成功事例としての高評価が集まりました。



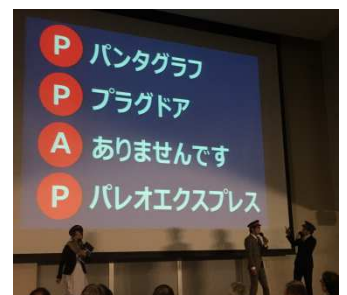
今年度新設の一般部門では、鉄道旅行ファンから「夢の鉄道旅行企画」を募集。「ベストアマチュア賞」は、来年度の destinations キャンペーン開催地である四国を横断するツアーを企画した谷正博さんが受賞。

4月1日デビューの観光列車「四国まんなか千年ものがたり」食事付きペア乗車券プレゼントのサプライズもありました。

全体総括として「ますます鉄旅の磨きがかかってきたようです。列車や車両の研究もされ、しかも、旅情や観光名所を見落とさず、充実したツアー商品が並びました。」と芦原伸審査委員長のお言葉で締めくくられました。

**■ 鉄道好き著名人が、「鉄道川柳」「恋駅ダンス」「鉄道のPPAP?!」など、
鉄っちゃんならではの“イチオシ鉄道トピックス”を披露！**

授賞式後は、鉄道好きで知られる吉川正洋さん(ダーリンハニー)、久野知美さん(女子鉄フリーアナウンサー)、南田裕介さん(ホリプロマネージャー)が、“鉄っちゃんイチオシの鉄道トピックス”をテーマにトークを展開。吉川さんは駅名だけで5・7・5を作ってしまう「鉄道川柳」を披露。久野さんが恋のつく駅で踊った「恋ダンス」の動画で盛り上がり、南田さんの「PPAP」をもじった鉄道ネタで一同爆笑。終始会場は笑いに包まれました。





「鉄旅オブザイヤー2016」受賞作品

●旅行会社部門



グランプリ(1作品)

赤い風船 観光列車「ながまれ海峡号」に乗ろう

株式会社日本旅行 新規事業室 鉄道プロジェクト 瀬端 浩之さん



準グランプリ(1作品)

長崎・雲仙仁田峠ミヤマキリシマと「幸せの黄色い王国」 福袋付きカーネーション列車と島原半島7大ご当地グルメ食べ比べ

株式会社読売旅行 九州営業部 佐賀営業所 小田 隆徳さん、吉田 裕謙さん



審査員特別賞(1作品)

貸切新幹線で行く 元気に！九州 鹿児島

西鉄旅行株式会社 商品企画部 みちくさセンター 齊藤 隆朗さん



DC賞(1作品)

【プレミアムステージ】中国鉄道コンチェルト〈第1楽章〉 ～瀬戸内観光列車旅の章～ 3日間

クラブツーリズム株式会社 第3国内旅行センター 増成 宜迪さん



ルーキー賞(1作品)

日本海絶景トレイン「きらきらうえつ号」に乗る 月山・鳥海山3つの絶景遊覧 3日間

株式会社阪急交通社 東日本営業本部 メディア営業1部 高橋 美和さん

●一般部門



ベストアマチュア賞(1作品)

寝台特急サンライズ瀬戸&四国まんなか千年物語号で行く 四国横断鉄道の旅

谷 正博さん



受賞者の記念撮影。



■「鉄旅 OF THE YEAR」とは

● 表彰対象

【旅行会社部門】

2015年11月～2016年10月までに催行された日本国内を目的地とする募集型企画旅行および受注型企画旅行。
※鉄道旅行の魅力がツアーの中心にあり、企画性、オリジナリティが高いものとする。

【一般部門】

2017年度デスティネーションキャンペーン開催地（京都・四国・長野・山口）の何れかを対象エリアとした鉄道旅行ツアー企画、アイデア。

● 表彰

【旅行会社部門】

グランプリ1作品、準グランプリ1作品、DC賞1作品、審査員特別賞1作品、ルーキー賞1作品 計5作品
※ルーキー賞とは、過去受賞したことがない（今回も受賞されていない）旅行会社による作品で、コンセプト・内容等について審査員が評価したもの。
※2016年度デスティネーションキャンペーン開催地の何れかを目的地とした作品を賞する「DC賞」を新設。

【一般部門】

ベストアマチュア賞1作品

● 審査

- ・鉄旅オブザイヤー実行委員会
- ・外部審査員 ※敬称略・五十音順

委員長	芦原 伸	「旅と鉄道」編集長、日本旅行作家協会常任理事
委員	井門 隆夫	(株)井門観光研究所、高崎経済大学地域政策学部観光政策学科准教授
委員	五十嵐 匡一	月刊「旅の手帖」編集長
委員	榎本 聖之	鉄道模型バー銀座パノラマ渋谷店オーナー
委員	オオゼキタク	シンガーソングライター
委員	大塚 圭一郎	共同通信社編集局経済部次長、鉄道コラム「汐留鉄道倶楽部」執筆者
委員	栗原 景	フォトライター
委員	島川 崇	東洋大学国際地域学部国際観光学科 学科長 教授
委員	杉山 淳一	鉄道ライター
委員	鉄旅ガールズ	鉄旅好き女子
委員	南田 裕介	鉄道好きマネージャー（株式会社ホリプロ）
委員	豊岡 真澄	元祖鉄道アイドル、ママ鉄代表
委員	矢野 直美	旅をしながら「撮って書く」フォトライター

● 組織

■主催：鉄旅オブザイヤー実行委員会（委員長 戸川和良）

■後援：北海道旅客鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、
西日本旅客鉄道株式会社、四国旅客鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社、
一般社団法人日本民営鉄道協会、社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会、
一般社団法人全国旅行業協会 協力：交通新聞社、旅行メディア各社